

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	インターンシップ [Internship]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	219700	授業形態	実習	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	長江 嗣朗			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>企業、公共団体、法人等における就業体験を通して、専門科目等で習得してきたことに磨きをかけ、実践力を養う。卒業後の進路を視野に入れ、自分の適性、将来の目標をさらに明確化できることを目指す。また、未体験のことを実際に経験できる貴重な機会であることを十分に認識し、目的意識をもって自ら行動を起こす。これによって、自主性、創造性を確立し、自己の可能性を高めることを目標とする。</p>						
関連する科目	実際に訪問先によって、それぞれ関連する科目は異なる。						
授業の進め方と方法	訪問先の考え、都合を優先する。						
授業計画	<p>授業の性質上、回数ごとに内容を明示することが困難であるが、概ね以下のような流れとなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 全体説明： インターンシップの概要説明を説明するとともに、注意事項およびその意義について説明する。 受け入れ先への申し込み： インターンシップを実施する各種企業・公共団体・法人等の中から希望する受け入れ先に自分自身で申し込む(なお、受け入れ先としては、日本農業法人協会、宮崎県総合政策課、さらにはインターネット等で独自に開拓したものも含む)。 受け入れ報告： 相手先からの受け入れ許可が出たら担当教員および就職課に報告する。 保険加入： 研究期間中の傷害・損害保険への加入を確認する(加入手続きは大学側実施)。 受講： 実際に、インターンシップ受け入れ先の指示に従って研修を実施する。 受講確認： 研修終了時に受け入れ先の担当者からインターンシップ受講確認書を確認していただき、レポートと共に提出する。 礼状作成： インターンシップ終了後、速やかに受け入れ先に御礼の手紙を送付することを義務づける。 レポート作成： インターンシップ終了後、できる限り2週間以内にレポートを作成して提出する。 報告会： インターンシップ履修者および次年度以降インターンシップを履修する予定のある学生を対象に、自分のインターンシップでの経験および学習した内容について報告する。 その他： インターンシップの実施条件として、以下の点を守ること。 <ol style="list-style-type: none"> 報酬：報酬無し 研修時間：受け入れ先の就業規則に従う(ただし、実施時間は積算で45時間以上とする) 研修内容：受け入れ先の就業内容に従う 経費：自己負担(詳細は受け入れ先と相談する) 守秘義務：受け入れ先の企業秘密は、一切口外してはならない 						
授業の到達目標	インターンシップは、手続するところから既に始まっていることを十分に認識した上で、受け入れ先に失礼のないよう誠実に準備、実施する。また、研修終了まで責任を持って業務の遂行に当たり、担当者等先方に信頼を得られるような能力を身に着ける。						
授業時間外の学修	研修実施前のビジネスマナー等の把握のために2時間程度。 また、研修後の反省、レポート作成に2時間。						
課題に対する フィードバック	学期末にインターンシップ全実施者による報告および反省会を実施する。			評価方法	レポートの提出を義務づける(研修前および研修中の活動内容、また研修で得られた成果、さらには今後の展望なども含めて作成する)。		
テキスト	なし						
参考書	なし						
備考							